



ピヨピヨおうちえん荻窪駅前では、園児たちがパン作りの作業に早くから親んでいます



目次 contents

- 01 平成31年 年頭所感
谷山哲浩理事長
- 02 地域で生きる・地域で輝く／清掃活動特集
- 03 通所施設・就労継続支援B型での清掃作業
- 04 「ママボノ」の協力で、ガイドヘルパー募集チラシを作成！
パン工房PukuPukuで「Mama Cafe at 荻窪」を開催！
法人設立50周年寄付金／お礼とご報告について

平成31年 年頭所感

社会福祉法人いたるセンター 理事長

谷山 哲浩
たにやま てつひろ

明けましておめでとうございませう。旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、事に触れて心に感じた事柄を述べさせていただきます。人生百年時代に向かい、社会福祉法人いたるセンターは、「揺りかごから墓場まで」を縦軸に、「生まれ育った地域で暮らし、働くこと」を横軸とし、誰も置き去りにすることのない地域福祉を理想に掲げてきました。今回は、これまで当法人が展開してきた事業の隙間（学齢期・青年期）を埋めるとともに、「働くこと」をテーマとした新たな事業「就労準備型放課後等デイサービス」についてご説明いたします。

これは、障害を持つ中学生や高

校生に対し、成人期に就労移行支援を受ける前の段階で、就労準備の訓練を受けられるサービスです。早くから就職、ひいては自立する意識を高めながら、仕事することへの興味や、働くことの楽しさややりがいを伝えていくことができれば、もっとスムーズに社会人としてのステージに移行できることは明々白々です。

いたるセンターには、彼らの受け入れ先となる就労移行事業、就労継続支援A型・B型事業を提供してきた経験とノウハウがあります。特別支援学校の実習先としても、多くの生徒を受け入れてきました。さらに、久遠チヨコレートやパン工房プクプクの天然酵母パン、あけぼのオリジナル・グリー

ンカレーなど、市場競争力を持つ魅力的な食品製造をはじめ、公園清掃、受注作業など、職業トレーニングのメニューも多彩なので、その方にマッチした就労訓練を積むことが可能です。

こうした背景から、次年度に向けては、レスパイト（一次預かりによる保護者の負担軽減）やレクリエーション等を目的とする事業所（クローバー・マルコ）と並行し、就労準備というニーズに応える新たな放課後等デイサービスの立ち上げを目指します。

現在、展開している全ての事業について、顧客満足度の高いサービスの提供を追求するとともに、地域福祉のさまざまな課題にも積極的に取り組んでまいります。

本年も変わらぬご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 1口5千円（何口でも可）
郵便振り込み 00110712892
（問）33927346 事務局山本まで

清掃活動 特集

地域で生きる・地域で輝く

三井不動産リアルティと連携、障害者雇用に一役



三井ソーシャルオフィス事業部では、三井不動産リアルティ株式会社が開設した事務所に勤務する障害のある社員に、清掃活動をはじめとするジョブコーチなどのサポートを行なっています。

清掃業務は、一般企業の障害者枠や特例子会社の求人募集が多くあり、様々な障害のある方が従事されている業務です。

清掃は、どの事業所でも需要があり、作業工程を分解して単純化することや、手順の統一がしやすいため、活用できるマニュアルが多くあり、特別支援学校ではビルメンテナンスコースを設けて清掃の指導を行なっている学校もあります。

また、清掃業務は、日々業務内容や業務量に変化することなく、定時定量に業務があり、見通しが



駐輪場の管理・清掃業務を行なう様子



清掃活動の一環、自転車の移動も

立てやすく、予定外、想定外なことが苦手な特性の方も安心して業務に従事できます。

三井ソーシャルオフィス事業部は、三井不動産リアルティ株式会社が荻窪に開設した障害のある方中心の事務所（業務サポート室荻窪事務所）のジョブコーチなどのサポートを行な

なっています。

業務サポート室荻窪事務所では、三井不動産リアルティ株式会社のパーク駐輪場を巡回し、駐輪場の管理業務【不正駐輪の対処（自転車移動、警告ラベル貼り）、お客様への挨拶・誘導など】と清掃業務を行なっています。

社会福祉法人いたるセンターでは、今後もさまざまな工夫を行い、障害のある社員の能力を最大限に引き出しながら、清掃業務の向上に貢献していきます。

三井不動産リアルティ株式会社の清掃作業



清掃業務は、トングを用いてリパーク駐輪場内のゴミを拾いますが、障害特性によって、駐輪場内のどこに注意を向けていいか焦点を絞れず、ゴミの見落としが発生してしまう事や、駐輪場を利用するお客様への配慮や誘導と清掃の同時並行が難しいといった課題がありました。そこで、ゴミを見落としやすいポイントを写真入りのマニュアルで示し、注意を向けるポイントを絞り込めるように工夫しました。また、お客様の誘導や対応が得意なメンバーがお客様対応の役割を担い、苦手なメンバーは清掃に集中できるようにし、得意・得意に応じて役割を割り振るようにしています。



①外勤業務は車を利用。現地では整理して移動します。



②駐輪場の清掃は、トングを使いゴミを拾います。



③自転車ラックに正しく収まっていない自転車を整備します。



見落としやすい場所

清掃担当2名の役割
合図があるまでゴミ拾いと確認をする。

①ランプの下
②ラックの間と間
③ラックの後ろ

指図員のゴミ捨ての合図のあと
チリトリのゴミをバケツと袋に分けて入れる。
※ゴミ捨てが終わったあとチリトリの中にゴミが残っていないか確認する。

① ランプの下
② ラックの間と間
③ ラックの後ろ

④ゴミを見落としやすいポイントを示した、写真入りのマニュアル。特に注意が必要な、ランプの下、ラックの間と間、ラックの後ろについて、写真で確認できるように工夫しています。

通所施設・就労継続支援B型での清掃作業

社会福祉法人いたるセンターの通所施設では、公園清掃をはじめとする清掃作業をご利用者様に提供しています。人が多く集まる公園のような場所での屋外活動は、作業を通じて地域の方々との交流を増やす場として重要な役割を担っています。

障害者の通所施設での就労継続支援では、清掃作業は多くの事業所が採用しているオーソドックスな作業です。

社会福祉法人いたるセンターでは、平成27年2月より、「清掃マイスター研修」を行い、清掃のプロフェッショナルを育成してきました。この研修は、各事業部から選抜された職員を対象に、株式会社シーバイエスとのコラボレーションで、本格的な清掃スキルを学ぶもので、研修



シーバイエスの清掃研修を受講する職員たち



あけぼの作業所の清掃グループの皆さん

を終了した職員たちには「マイスター手当」が支給されています。

こうした職員たちの指導・サポートの下、阿佐谷福祉工房、あけぼの作業所、目黒本町福祉工房のご利用者様26名が、杉並区と目黒区の公園清掃を中心とする作業を行なっています。

目黒本町福祉工房の就労継続支援B型・屋外作業グループの三股雅史グループリーダーは、



「目黒区の公園2箇所に加え、体育館の駐車場や高齢者住宅などを定期的に清掃しています。地域に開かれた施設を目指す上で、屋外における作業を通じ、地域への橋渡しをすることも、重要な使命と考えています」と答えられました。

今後も、清掃活動を通じ、個々の力を最大限に引き出し、社会性を習得できる支援を提供していきたいと思えます。



煙草の吸殻も一つ一つ丁寧に拾います

通所3施設の清掃作業データまとめ

■阿佐谷福祉工房

就労継続支援B型

ご利用者様 5名

公園清掃 阿佐谷にしはら公園・わかたけ公園・東原公園・銀杏稲荷公園・井草さくら公園・向井東公園

支援ポイント 困っている人にすぐ気付けるように、全体を見ながらサポートする。

■あけぼの作業所

就労継続支援B型

ご利用者様 8名

公園清掃 三谷公園・道灌橋公園・山葉名いこいの森公園
公園清掃以外 一所内清掃・園庭清掃

支援ポイント 自立したグループなので、できることは全部行なってもらう。

■目黒本町福祉工房

就労継続支援B型

ご利用者様 13名

公園清掃 唐ヶ崎児童遊園・三角山公園
公園清掃以外 碑文谷体育館駐車場・高齢者住宅3箇所

支援ポイント それぞれが役割を意識し、協力し補い合い、チームとして機能するよう支援を行う。



理事長の一言

「平成」という元号を考案したと言われている、安岡正篤先生の「新年の解」をご紹介します。

新という字を知らぬ者はない。然し、「新」という字の真の意味を解する人は案外少ない。元來この字は「辛」と「木」と「斤」との組み合わせである。辛は努力を意味し、斤は木を斬る「まさかり」「大おの」であり、これで木をきることに、それから「斤斤」といえば明らかに見わかる、又いつくしむ（慈愛）の意味がある。即ちよく木を愛し育て、それを努力して加工し、新一あらたなものにして活用するということを表すものである。こんな深い正しい意味を知らないで「あたらしがりや」など、目先の変った、ものめずらしいということに軽々しく解するのは、とんでもないことである。本当に新しくするには大した用意と努力を要するわけで、新人などざらにあるものではない。年の始めに勉強せねばならぬことは、先ず以って自己をどう維新するかということである。

この言葉は、吉田茂をはじめとする8人の宰相の指南役を務め、政・財・官の指導者教育に力を注いだ安岡正篤の「新年の解」です。「年頭まず自ら意気を新たにすべし」という言葉とともに、じっくり味わってください。



安岡正篤

ピックアップいたる

多様な主体が力を合わせて、地域福祉の課題に挑戦!

育児休暇中のママさんたちのボランティア、 「ママボノ」の協力で、ガイドヘルパー募集チラシを作成!



今回、ガイドヘルパー募集案件に参加していただいたママの皆さんです!

いたるセンターのサポートウイズは、障害者のための移動支援サービスや、高齢者のケアマネジメント(居宅介護支援)を行なう事業部です。山崎智子統括リーダーは、障害者が余暇活動や社会参加を楽しむことで、もっと地域生活を豊かにしたいと考えていましたが、その移動支援をサポートするガイドヘルパー不足に悩んでいました。そこで、法人本部の助言から、このプロジェクトにエントリーし、「ガイドヘルパーを募るとともに、誰もが地域で自分らしく生きていくことの大切さ」を伝えたいという意図が採択され、7名のママさんたちとの協働作業がスタートしました。そして完成したのが、当誌に折り込んだチラシです。あなたも、ガイドヘルパーで街に出ませんか?

東京ホームタウンプロジェクト 超高齢社会に対応するため、「いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる」を合言葉に、人がつながり、安心して暮らせる地域づくりを東京都が応援するプロジェクトです。認定NPO法人サービスグラントが募集したママボノがチームとなり、組織の課題解決や事業展開に向けた支援を行います。



注目の石田勝紀さんのカフェスタイル勉強会です! パン工房PukuPukuで「Mama Cafe at 荻窪」を開催!

いたるセンターの就労継続支援A型事業所「パン工房PukuPuku」では、子育て・教育専門家の石田勝紀さんが実施する子育て中のママさんたちを対象にした、「カフェスタイル勉強会」を開催してきました。昨年は、9月11日と12月18日に開催し、多くのママさんたちがPukuPukuの天然酵母100%のパンをつまみながら、ライトで内容の濃いおしゃべりを楽しまれていました。今年も開催を予定しておりますので、法人Facebookの情報をお見逃しなく!

杉並区内の保育園・幼稚園の給食に、次々と採用!



杉並区内の保育施設に配布したチラシ

パン工房PukuPukuは、これまで杉並区内の保育園・幼稚園への数多くの導入実績があります。「自分の子供に食べさせたいパン」というコンセプトの下、保存料などの添加物を一切入れていません。美味しさにも安全性にもこだわったパンは、食育を奨励している保育施設にぴったり。今年度も、6つの保育施設からご契約をいただき、美味しい「食育の輪」が広がっています。



石田勝紀氏主催のママカフェの目印です!

いたる広報委員

発行責任者= 谷山 哲浩
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL: 03-3392-7346
FAX: 03-3391-8039
Eメール: info@itarucenter.com
HP: http://www.itarucenter.com/
発行日/平成31年1月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。



いたる広報委員まで。

法人設立50周年寄付金

お礼とご報告について

昨年、これまでいたるセンターを支えていただいた多くの方々や、新たな歩み始めるいたるセンターをこれから応援しようという皆様を対象に、創立50周年を記念し、「次代を担う人材の確保と教育・育成」を目的とした寄附金を募集いたしました。ここに寄附をいただきましたお礼とともに、ご報告をさせていただきます。

- ◆ 寄付金総額 1,407,100円 (+マット40枚)
- ◆ 寄付者 73の団体・個人の皆様
- ◆ 寄付金使途 平成30年度新卒職員研修費用に充当

次なる50年を見据え、地域福祉の未来を拓く介護・支援人材の確保および職員のキャリアアップ教育・育成などを推進してまいります。ご協力、誠に有難うございました。

社会福祉法人いたるセンター 理事長 谷山哲浩

